

アフリカ開発銀行(AfDB)とインド

第52回年次総会

AfDB

- 1984年加盟
- 中所得国及び民間セクターへの非譲許的融資

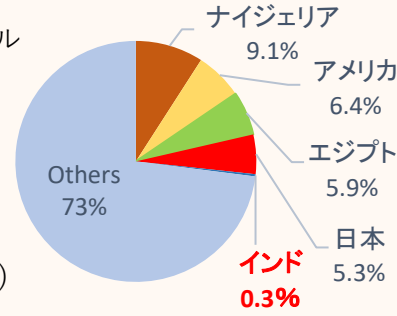
ADF

- 1982年加盟
- 低所得国支援に特化したアフリカ開発基金

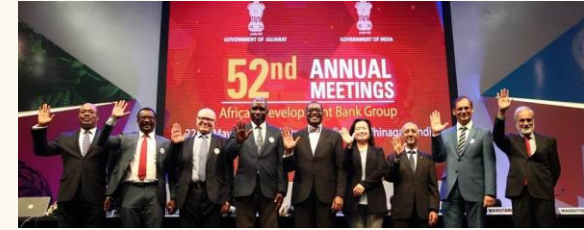
インド

引受資本：6億米ドル
出資比率：0.3%
(81カ国中第54位)

加盟国別出資比率
(2020年12月末時点)



- 2017年5月22～26日、アーメダバードで開催。
- AfDBの5つの優先分野のうち、アフリカ富の創造のための農業変革における当行のリーダーシップを承認し、2025年までに6億4500万人に電力へのアクセスを可能にするという「アフリカにおけるエネルギー・ニューディール」における役割を称賛。
- インドのモディ首相はアフリカとインド間の貿易が15年間で増加し、過去5年で貿易額が倍増したと述べた。



インドーアフリカ・プロジェクト・パートナーシップ (India-Africa Project Partnership)



- 通称「コンクラーベ」と呼ばれるこの会議は、インド工業連盟(CII)とインド輸出入銀行が、インド外務省及び商工省、インド政府の協力を得て、2005年から毎年開催。
- AfDBアジア代表事務所(SNAR)は2014年以来、毎年参加している。

インド・アフリカ・サミット

- インド商工会議所(IMC)とアフリカ・ビジネス・ニュース(ABN)が主催。サブサハラアフリカとインドの経済及びビジネス関係を促進することを目的としている。

インド・アフリカ経済協力基金 (INAFEC)

- AfDBは1998年以来、インドによる信託基金を設置。インドは600万米ドルの無償資金を信託基金として提供。2015年5月、総額6億インドルピー(950万米ドル)を補充。



- インドはこの基金を通じて、アフリカとの官民連携の実施に関する専門知識を共有している。
- 信託基金の優先分野としては、インフラ及び鉄道開発における技術支援、ICT、科学技術、非伝統的エネルギー、インドの開発経験についての知識共有など。

シャプールジ・パロンジ太陽光発電プロジェクト/ 国際的な太陽光発電に関するアライアンス:ISA

- 2017年、エジプトにおける固定価格買取制度(FiT)プロジェクトの第2ラウンドにおいて、AfDBはシャプールジ・パロンジ太陽光発電プロジェクトに総額1900万米ドルのシニアローン承認。これにより独立系発電事業者(IPP)のシャプールジ・パロンジ・エネルギー・エジプト社(SPEE)は、期間18年の融資を獲得。この融資には、地球環境ファシリティー(GEF)からの700万米ドルの譲許的融資を含む。
- SPEEは、インドで最も歴史のある建設会社の一つであるシャプール・パロンジ・グループ(SPグループ。1865年設立)の傘下にあるIPP。
- 2015年11月に、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)において、インドのモディ首相とフランスのオランド大統領(当時)により設置。ISAは、太陽光に恵まれた諸国が共通の合意されたアプローチにより、特別なエネルギー需要に取り組むための協働プラットフォームであり、連携枠組み。ISAは、AfDBを含む国際開発金融機関と2018年に、共同金融パートナーシップ宣言に署名。
- AfDBはISAと共に、太陽光資源に恵まれたアフリカ諸国における太陽光発電の開発のための技術支援と知識移転を支援し、オフグリッド太陽光発電プロジェクト向けの資金調達手段を促進。AfDBの「太陽光によって砂漠を新たなエネルギー源に変えるイニシアティブ」を支援。